

▼プロロン散 [内] <販売中止>

【重要度】<販売中止> 【一般製剤名】ジフェニルピラリンテオクル酸塩 diphenylpyraline teoclate 【分類】抗ヒスタミン剤

【単位】▼1%

【常用量】9mg/日

【用法】分3

【透析患者への投与方法】透析患者の投与方法に言及した文献はないが、減量の必要ないと思われる (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】腎不全患者の投与方法に言及した文献はないが、減量の必要ないと思われる (5)

【特徴】抗ヒスタミン作用のほか、強力な抗ムスカリン作用（鼻粘膜乾燥作用など）を有する。副作用として鎮静効果（眠気など）が強い

【主な副作用・毒性】眠気、発疹、めまい、倦怠感、多幸感、頭重感、口渇、腹痛、眼圧上昇、尿閉など

【tmax】45min（ラット）(1)

【排泄】ヒトのデータなし (1) 代謝物は尿と糞便中に排泄 (1)

【MW】496

【透析性】不明 (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【更新日】20101129

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。